

評価シート

評価領域	進路指導部
------	-------

目標の設定 (Plan)

重点目標	面談を通して難関大に挑戦する意欲を喚起し、志望達成のための支援をする。
現 状	面談週間などを活用することで生徒とのコミュニケーションを深めてはいるが、保護者からのアンケートなどからまだまだ不十分な状況が見て取れる。また、近年の安全志向の高まりからか、果敢に挑戦する生徒が減少しているように思われる。
具体的な目標	進路志望の育成と達成のために、個々の生徒に今まで以上に支援をすすめ、より高い目標に向けて挑戦する心を育む。
目標達成のための方策	生徒個々の状況を把握するために個別に向き合う時間を確保し、日常的な声かけが気軽にできるように面談場所の整備を進める。

実践 (Do)

具体的な取組状況	年二回、各2週間の面談週間を設定する他、Fine System等の面談支援のデータの活用を促す。
達成状況	昼休みなどに生徒相談室などを活用して個別面談する場面が徐々に増えてきている。

自己評価 (Check)

評価基準	A : 具体的な活動が示され目標を達成できた。 B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない。 C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない。
------	---

自己評価	評価	根 拠
	B	時間的な制約も大きいですが、面談場所の確保に工夫の余地が残る。また、Fine System や Kei-Net 等の活用方法もまだ不十分である。

学校関係者評価と意見	評価	意 見
	B	進路関係の諸事業の取組みと丁寧な情報収集及びその活用を評価する。重点目標である面談による生徒の意欲喚起と進路実現の支援に対しては、保護者アンケートの自由記述等では職員の面談に対する質の個人差を指摘する声が見受けられる。職員の共通理解を図り、来年度はその改善に取り組んでもらいたい。

改善した実践 (Action)

自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	学校としての面談体制を強化するに当たり、環境面の整備ばかりではなく、講習会や研修の機会を増やすことで個々の教員の面談スキル向上を目指す。
-----------------------	--